



# 大宮小だより

作成 塩谷町立大宮小学校長 山田 敏夫

令和3年度 3月号 (2022.3.23 発行)

学校教育目標【具体目標】・進んで学ぶ子・思いやりのある子・明るく元気な子

【校訓】かしこく やさしく たくましく

○子どもたちの自己肯定感を高めましょう。(その9)

## ・前回の復習

メタ認知能力を高めるためには、「自分で課題に気づき、自分なりに解決策を考えること」を繰り返すことが重要。子供が自分のありのままを受け入れて、それをプラスの方向に変化させるにはどうするかを本人の力で考えてもらうことができるように、大人が次の手順で、意識して声をかけることが大切。①子どもを否定しない。現状に対して OKを出す。②本人がどう思ったか、どうしたいか聞く。③(場合によって)本人が思ったことと真逆のことを言う。④その上で手伝ってほしいことがあるか聞く。

※(「自律する子の育て方 工藤勇一 青砥瑞人著」より引用しながら構成しています。)

## ・メタ認知能力を高めるためには (モデリング)

子どもたちが自分なりの成長方法を自由に模索するようになると、心理学でいう「モデリング」を積極的に活用する子どもがでてきます。「モデリング」とは、見本となる対象をじっくり観察・分析して、自分をその見本に近づけていく行為や現象のことを言います。自分が理想とする姿と現状の自分の姿を見比べる行為は俯瞰視そのものであり、自分の課題を絞り込みやすく、成長が早いという大きなメリットがあります。

(例) 原田左官工業所の職人の育成方法

自分が壁を塗っている動画をひたすら撮影し、名人の動画と見比べながら少しずつ名人の動きを真似していくことで、一人前になるのに10年かかった作業を2カ月で現場に立ち、4年で一人前に成長させた。

## ・メタ認知能力を高めるためには (子どもが気づいていないことを言語化する)

子ども自身が気づいてないところを褒めてあげることで、そのことに意識が向くようになり、それが本人の特徴に変わっていきます。99%はダメな行動をしていても、ごくたまに自分をコントロールしてトラブルを回避する瞬間があるものです。その1%を褒めてあげることで、そこに意識が向くようになり、子どもが変わっていきます。

## ・メタ認知能力を高めるためには (対人トラブルは自分を知るチャンス)

人間であれば誰しも嫌いな人や苦手な人がいます。学校でも人数が増えれば増えるほど相性の悪いクラスメイトはいるものです。ただ、子どもにとってはそれが大きなストレス要因となることが多く、いくら大人が「社会に出てそんなもんだよ」と言っても、納得してもらえません。しかし、「気に食わないことはたいてい自分が気にしていることやこだわっていることだ」ということだと指摘し、気づかせることで、自分を俯瞰視することになって、感情のコントロールがしやすくなります。(小中学生では、まだ難しいかもしれませんが。)

## ・メタ認知能力を高めるためには (大人のメタ認知能力はどう上げるか)

著者である工藤先生がメタ認知による自己コントロール能力が一段と高まったと実感できた発想の転換が2つあると言っています。1つめは「最上位目標に立ち返る」という発想、つまり「子どものため」という最上位目標を達成するためにどうするか考えること。2つめは「自分の理想を他人に押し付けない。人間はみな発展途上である」という一種の開き直りで、「周りの人が自分の理想のとおり人間であるべきだ」という発想がおかしかったのだ。まずはありのままを受け入れよう」と発想を変えることだと。こうすることで、職場等での対人関係ストレスは大幅に減り、子どもが成長していけるための言葉を模索する作業が自分を客観的に眺める訓練となるということです。(教員向けでしょうか。)

## ・最後に

目的は、子どもが自律することです。そのためには心理的安全性を確保し、思考できる状態にする。自己肯定感が高いほど、心理的安全性が保てる。そして、思考する内容は、自分を俯瞰的に眺めること(メタ認知)での自己の行動の改善。それが成長につながる(自律)という手順です。

まずは、第1歩である子どもの自己肯定感を高め、ストレスに強い状態になるよう学校、家庭で協力してまいりましょう。

卒業式(令和4年3月18日)

2年連続で来賓の臨席のない卒業式となりました。卒業生の晴れ姿を地域の皆様にお見せすることができませんでしたが、素晴らしい卒業生でした。地域の皆様には、様々な行事での御協力に御礼申し上げます。)

